

精神看護学

精神看護学

目標Ⅰ. 精神の健康と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 精神保健	A 精神の健康	a 精神の健康の概念	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 A「精神の健康とは」(p.20~27) 公衆衛生 : 第7章 D-1-1「精神保健領域における活動理念」(p.209~210) 精神保健福祉 : 第1章 B-1「精神保健福祉とは」(p.5~6)
		b 精神障害の第一次予防、第二次予防、第三次予防	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-1「カプランの3つの予防概念」(p.94~96) 公衆衛生 : 第7章 D-1-2「地域での暮らしと精神の健康を支える」(p.210~212) 精神保健福祉 : 第4章「精神保健福祉活動の展開に必要な知識と技術」(p.66~120)
	B 心の健康に関する普及啓発	a 偏見・差別・スティグマ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 A-1「『ふつう』というものさし」(p.21~22)、B-2「病いの苦しみと環境の不寛容」(p.28~29)、第6章 D「精神障害と社会学」(p.295~299)
		b 精神保健医療福祉の改革ビジョン	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 B-5「精神保健福祉の現在と今後」(p.287~288) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-2「精神障害者の地域生活を支えるために」(p.246~256) 精神保健福祉 : 第3章 B「施策の動向」(p.56~63)
	C 危機 (クライシス)	a 危機の概念	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 A-2-3「健康破綻による危機状況」(p.193~195) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-1-1「危機という考え方」(p.87~88) 精神保健福祉 : 第4章 B-1-1「危機的状況とはなにか」(p.82~83)
			b 危機介入
		c 危機と予防	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-4「危機を乗り越え、成長していくための支援と力」(p.94~97) 精神保健福祉 : 第4章 B「早期の対応と地域生活をつなぐために一二次予防」(p.81~101)
		d ストレスと対処	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第5章 B-2-2「ストレスとその対処」(p.166~168) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-1-2「生体システムとしてのストレス反応」(p.88~89)、C-1-3「心理的ストレスとライフイベント」(p.89~90)、C-2「ストレスへの対処(コーピング)」(p.90~92)
		e 適応理論	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-2「ストレスへの対処(コーピング)」(p.90~92)
	D 災害時地域精神保健医療活動	a 災害時の精神保健医療活動	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 C-1-2「危険からまもる」(p.111~113) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.140~143)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 災害時の精神保健初期対応	精神保健福祉：第4章 B-2-5「災害と精神保健福祉」(p.98~101) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章 C-1-2「危険からまもる」(p.111~113) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.140~143)
		c 災害時の精神障害者への治療継続への援助	精神保健福祉：第4章 B-2-5「災害と精神保健福祉」(p.98~101) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章 C-1-2「危険からまもる」(p.111~113) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.140~143)

目標Ⅱ. 精神看護の基盤となる援助について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 精神看護の基盤となる援助	A 精神疾患・精神症状への援助	a 症状性を含む器質性精神障害	老年看護 病態・疾患論：第4章 A「認知症」(p.119~134) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-7「器質性精神障害」(p.198~207)
		b 精神作用物質使用による精神・行動の障害	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-7-3「精神作用物質使用による精神および行動の障害」(p.207~212)
		c 統合失調症、統合失調症型障害、妄想性障害	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-2「統合失調症」(p.156~172)
		d 気分(感情)障害	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-3「気分[感情]障害」(p.172~181)
		e 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-4「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」(p.181~190)
		f 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-5「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」(p.191~195)
		g 成人の人格・行動の障害	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-6「パーソナリティ障害」(p.195~197)
		h 精神遅滞	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-9「知的障害/精神遅滞」(p.215~216)
		i 心理的発達障害	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-10「心理的発達の障害」(p.216~218)
		j 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第18章「精神疾患と看護」(p.482~513) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-11「小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害」(p.218~219)
	B セルフケアの援助	a 食物・水分の摂取	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第7章コラム「看護の理論家たち⑤」(p.43)、第8章 A-④「患者のアセスメント」(p.77~87) 精神保健福祉：第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208~217)
		b 呼吸	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第7章コラム「看護の理論家たち⑤」(p.43)、第8章 A-④「患者のアセスメント」(p.77~87)
		c 排泄	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第7章コラム「看護の理論家たち⑤」(p.43)、第8章 A-④「患者のアセスメント」(p.77~87)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 清潔と身だしなみ	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第7章コラム「看護の理論家たち⑤」(p.43)、第8章 A-④「患者のアセスメント」(p.77~87) 精神保健福祉 : 第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208~217)
		e 活動と休息	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第7章コラム「看護の理論家たち⑤」(p.43)、第8章 A-④「患者のアセスメント」(p.77~87) 精神保健福祉 : 第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208~217)
		f 対人関係	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第7章コラム「看護の理論家たち⑤」(p.43)、第8章 A-④「患者のアセスメント」(p.77~87) 精神保健福祉 : 第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208~217)
		g 安全	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第7章コラム「看護の理論家たち⑤」(p.43)、第8章 A-④「患者のアセスメント」(p.77~87)
	C 生きる力と強さに着目した援助	a ストレングス〈強み・力〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-4-3「新たな回復へのモデル—ストレングスモデル」(p.96~97) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-2-3「地域生活を支える考え方」(p.247~248) 精神保健福祉 : 第4章 C-2「リカバリーを支えるためのストレングスモデル」(p.107~112)
		b リカバリ〈回復〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 B-5「精神保健福祉の現在と今後」(p.287~288) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 E-4「回復のビジョン」(p.164~167) 公衆衛生 : 第7章 D-1-1「精神保健領域における活動理念」(p.209~210) 精神保健福祉 : 第4章 C「能力の再構築と再発防止のために—三次予防」(p.101~120)
		c エンパワメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 B-5「精神保健福祉の現在と今後」(p.287~288) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 E-4「回復のビジョン」(p.164~167) 公衆衛生 : 第7章 D-5「当事者の力」(p.224~225) 精神保健福祉 : 第4章 A「精神障害の予防のために—一次予防」(p.67~81)、C「能力の再構築と再発防止のために—三次予防」(p.101~120)、第5章 B-4「精神障害者の就労支援」(p.145~149)、第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173)
	D 援助関係の構築	a 信頼関係の基礎作り	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第7章 A「ケアの前提」(p.2~4)、B「ケアの原則」(p.5~12)、C「ケアの方法」(p.12~27)
		b 患者 - 看護師関係の発展	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第7章 D「関係をアセスメントする—プロセスレコードの活用」(p.27~40)、E「患者 - 看護師関係でおこること」(p.40~59)
		c 患者 - 看護師関係の終結	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第7章 D「関係をアセスメントする—プロセスレコードの活用」(p.27~40)、E「患者 - 看護師関係でおこること」(p.40~59)
		d プロセスレコードの活用	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第7章 D「関係をアセスメントする—プロセスレコードの活用」(p.27~40)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	E リエゾン精神看護	a 心身相関と健康	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 A-4-2 「感情と身体」 (p.46)、第 4 章 C-12 「心身症」 (p.219～220) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 11 章 C-1-3 「リエゾン精神看護の歴史」 (p.313)
		b 身体疾患をもつ人の精神の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 11 章 A 「身体疾患と精神看護」 (p.296～302)
		c 精神疾患をもつ人の身体の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 9 章 「身体をケアする」 (p.173～231)
		d 患者と家族の精神の健康	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 A 「全体としての家族」 (p.100～119) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 11 章 C-2-1 「コンサルテーション」 (p.314～318)、C-2-2 「直接ケア」 (p.318～319)、C-2-3 「リエゾン活動」 (p.319～320)
		e 看護職員の精神の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 11 章 C-2-4 「看護師のメンタルヘルスへの支援」 (p.320～323)、終章 「看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス」 (p.334～354)
		f 支持的面接	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 11 章 B 「看護力コンサルティング」 (p.302～312)
		g 心身相関の考え方にに基づくホリスティックケア	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 9 章 C-3 「精神療法としての身体のケア」 (p.196～200)
		h リラクゼーション	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-1-3 「リラクゼーション」 (p.252)
		i 患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 11 章 C-2-3 「リエゾン活動」 (p.319～320)

目標Ⅲ. 精神疾患をもつ人の生物・心理・社会的側面への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 生物学的側面に注目した援助	A 脳の仕組みと精神機能	a 脳の部位と精神機能	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 2 章 B-1 「脳」 (p.25～34)、E 「運動機能と感覚機能」 (p.47～52) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 B-1-1 「ニューロンと神経伝達物質」 (p.227～228)、B-2 「統合失調症とドパミン」 (p.230～231)
		b 神経伝達物質と精神機能	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 2 章 A 「神経系の分類と機能」 (p.20～25) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 B-1-1 「ニューロンと神経伝達物質」 (p.227～228)、B-2 「統合失調症とドパミン」 (p.230～231)
		c ストレス脆弱性仮説	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 C-1 「危機という考え方」 (p.87～88)、第 4 章 C-2-4 「生物学的成因論」 (p.163～164) 精神保健福祉 : 第 5 章 B-3-2 「感情表出とストレス脆弱性モデル」 (p.142～143)
		d 脳と免疫機能	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 C-1-2 「生体システムとしてのストレス反応」 (p.88～89)
		e 睡眠障害とサーカディアンリズム	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 C-5-2 「睡眠障害(精神的要因によるもの)」 (p.191～194) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 9 章 F 「睡眠の援助」 (p.218～223)
	B 臨床検査	a 脳波検査	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 4 章 B-2-9 「脳波検査」 (p.106～107) 臨床検査 : 第 10 章 I-C-1 「脳波検査」 (p.302～308)
		b 脳の画像検査	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 4 章 B-2 「補助的検査法」 (p.95～109) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 図 4-4 「アルツハイマー病の検査画像」 (p.200)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
4	C 薬物療法	c 脳脊髄液検査	臨床放射線医学：第1部「画像診断」(p.15~168) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第4章 B-2-11「脳脊髄液(髄液)検査」(p.107~109) 臨床検査：第3章 D「脳脊髄液(髄液)検査」(p.82~84)	
		a 抗精神病薬	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 B-1-2「抗精神病薬」(p.229~237) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第9章 C-1「『第3の疾患』としての抗精神病薬の有害反応」(p.177~190) 薬理学：第6章 D「抗精神病薬」(p.167~169)	
		b 抗うつ薬	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 B-1-3「抗うつ薬」(p.237~239) 薬理学：第6章 E-1「うつ状態に対して用いられる薬(抗うつ薬)」(p.170~172)	
		c 気分安定薬	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 B-1-4「気分安定薬(抗躁薬)」(p.240) 薬理学：第6章 E-2「躁状態に対して用いられる薬」(p.172)	
		d 抗不安薬	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 B-1-5「抗不安薬」(p.240) 薬理学：第6章 C-2「抗不安薬」(p.164~165)	
		e 睡眠薬	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 B-1-6「睡眠薬(催眠薬)」(p.240~241) 薬理学：第6章 C-1「催眠薬」(p.160~163)	
		f 抗てんかん薬	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 B-1-7「抗てんかん薬」(p.241) 薬理学：第6章 G「抗てんかん薬」(p.174~175)	
		D 症状マネジメント	a 服薬自己管理への支援	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第9章 C-1-5「服薬の援助」(p.187~190) 精神保健福祉：第4章 C-3-7「リハビリ志向の薬物療法と服薬管理」(p.118~119)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208~217)
			b 心理教育	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章 E「回復を支えるさまざまな技法」(p.156~164) 精神保健福祉：第4章 C-3-5「心理教育」(p.116~117)
		A 心の機能と発達	a 精神情緒の発達	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 B「心のしくみと人格の発達」(p.55~86)
			b 自我の機能	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 B-1-1「自我の構造」(p.56~58)
			c 防衛機制	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 B-1-2「不安と防衛」(p.58~61)
			d 精神力動	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 B-1「精神分析と精神力動理論」(p.55~64)
	e 集団力動		精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章 B「人間と集団」(p.119~133)、第5章 C-2-1「集団精神療法とは」(p.255)	
	f 転移感情		精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第7章 E-4「転移・逆転移」(p.46~49)、終章 B「看護師の不安と防衛」(p.335)	
	B 精神療法		a 個人精神療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-1「個人療法」(p.245~254)
			b 集団精神療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-2「集団精神療法」(p.255~259)
			c 認知行動療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-1-3「認知療法」(p.250) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章 E-3-3「認知行動療法(CBT)」(p.160~163) 精神保健福祉：第4章 C-3-3「認知行動療法」(p.115~116)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C リハビリテーション療法	a 作業療法 b 芸術療法 c 生活技能訓練 (SST)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 D-4 「作業療法(OT)」 (p.264~265) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-1-4 「芸術療法(アートセラピー)」 (p.252~254) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-2-4 「社会生活技能訓練」 (p.257) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 E-3-1 「社会生活技能訓練(SST)」 (p.156~159) 精神保健福祉 : 第 4 章 C-3-4 「社会生活技能訓練」 (p.116)
5 社会的側面に注目した援助	A 家族	a 家族のストレスと健康状態のアセスメント b 家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント c 家族システムのアセスメント d 家族への教育的介入と支援 e 患者 - 家族関係	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 A-2 「家族と健康」 (p.101~102)、A-3 「家族内コミュニケーションのゆがみ」 (p.102~104)、A-8-1 「High EE 家族と Low EE 家族」 (p.116~117)、第 5 章 C-3 「家族療法」 (p.259~262) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 C-6 「家族を支援する」 (p.285~292) 精神保健福祉 : 第 5 章 B-3 「家族支援」 (p.141~144) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 A-5 「システムとしての家族」 (p.107~113)、第 5 章 C-3 「家族療法」 (p.259~262) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 C-6 「家族を支援する」 (p.285~292) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 A-4 「家族のなかの役割関係」 (p.104~107)、A-5 「システムとしての家族」 (p.107~113)、A-6 「家族関係図を描いてみる」 (p.113~114)、第 5 章 C-3 「家族療法」 (p.259~262) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 C-6 「家族を支援する」 (p.285~292) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 A-7 「家族療法の考え方」 (p.115~116)、A-8-2 「ファミリーワーク」 (p.117~118)、A-9 「家族と看護」 (p.118~119) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 E-3-4 「家族への心理教育」 (p.163~164)、第 10 章 C-6 「家族を支援する」 (p.285~292) 精神保健福祉 : 第 5 章 B-3 「家族支援」 (p.141~144) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 A-3 「家族内コミュニケーションのゆがみ」 (p.102~104)、A-4 「家族のなかの役割関係」 (p.104~107)、A-5 「システムとしての家族」 (p.107~113)、A-6 「家族関係図を描いてみる」 (p.113~114)、A-8-1 「High EE 家族と Low EE 家族」 (p.116~117)、第 5 章 C-3 「家族療法」 (p.259~262) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 C-6 「家族を支援する」 (p.285~292)
	B 社会復帰・社会参加の基本	a リハビリテーションの概念 b 国際生活機能分類 (ICF) c 長期入院患者の退院支援	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 D-5 「精神科リハビリテーション」 (p.265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 E-2 「精神科におけるリハビリテーションとは」 (p.153~156) 精神保健福祉 : 第 4 章 C-1-1 「精神科リハビリテーション」 (p.102~104) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 1 章 C 「精神障害のとりえ方」 (p.30~32) 公衆衛生 : 第 7 章 F-1 「障害・難病とは」 (p.234~236) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 A-3-5 「退院後の生活の場や関係の調整」 (p.76)、第 10 章 C-3 「複合的な問題をかかえた長期入院患者の退院を支援する」 (p.268~275)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 保健医療に関する資源の活用と調整	a 保健所、市町村、精神保健福祉センター	精神保健福祉：第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 D-5「精神科リハビリテーション」(p.265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-4「精神障害者の地域生活を支えるさまざまなサービス」(p.248~256) 公衆衛生：第7章 D-2-1「精神健康に困難を有する人の相談機関」(p.212~213) 精神保健福祉：第4章 A-2-2「支援システムを構成するおもな社会資源」(p.75~78)
		b 精神科デイケア、精神科ナイトケア	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 D-5「精神科リハビリテーション」(p.265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-4「精神障害者の地域生活を支えるさまざまなサービス」(p.248~256) 精神保健福祉：第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132~138)
		c 訪問看護、精神科訪問看護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-4「精神障害者の地域生活を支えるさまざまなサービス」(p.248~256) 在宅看護論：第2章 A-4-3「慢性的な療養状態の継続支援、症状コントロールの必要な状態」(p.29~30)、第6章 J「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」(p.363~373) 精神保健福祉：第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132~138)
	D 社会資源の活用とケアマネジメント	a 精神障害者ケアマネジメントの基本的考え方	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-1「地域生活が前提の時代になった」(p.246)、B-2-2「アメリカにおけるケースマネジメントとコミュニティサポートシステム」(p.246~247)、B-2-3「地域生活を支える考え方」(p.247~248)
		b 社会資源の活用とソーシャルサポート(エコマップ)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 C-2-2「ストレスとソーシャルサポート」(p.91) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-1「地域生活が前提の時代になった」(p.246)、B-2-2「アメリカにおけるケースマネジメントとコミュニティサポートシステム」(p.246~247)、B-2-3「地域生活を支える考え方」(p.247~248)、B-2-4「当事者のエンパワメントのためのサービス」(p.252~254) 公衆衛生：第7章 D-2「地域生活を支えるためのしくみ」(p.212~218) 精神保健福祉：第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132~138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210~217)
		c 自立支援医療	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-2「障害者総合支援法における通院医療費」(p.313)、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.317~319) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.81~82)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210~217)、B-3-7「障害者自立支援法の成立—障害者総合支援法による支援」(p.184~187) 精神保健福祉：第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210~217)
		d 居宅介護(ホームヘルプ)、同行援護および行動援護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-2「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.317~319)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 重度訪問介護	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-2-4 「生活にかかわるサービス」 (p.251~252)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第3章 F 「公費負担医療」 (p.81~82)、第7章 B-3-7 「障害者自立支援法の成立—障害者総合支援法による支援」 (p.184~187)</p> <p>精神保健福祉 : 第3章 A-2-1 「障害者総合支援法の概要」 (p.47~52)、第7章 A-2-3 「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」 (p.210~217)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 E-2-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」 (p.317~319)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第3章 F 「公費負担医療」 (p.81~82)、第7章 B-3-7 「障害者自立支援法の成立—障害者総合支援法による支援」 (p.184~187)</p> <p>精神保健福祉 : 第3章 A-2-1 「障害者総合支援法の概要」 (p.47~52)</p>
		f 生活介護	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 E-2-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」 (p.317~319)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第3章 F 「公費負担医療」 (p.81~82)、第7章 B-3-7 「障害者自立支援法の成立—障害者総合支援法による支援」 (p.184~187)</p> <p>精神保健福祉 : 第3章 A-2-1 「障害者総合支援法の概要」 (p.47~52)</p>
		g 短期入所〈ショートステイ〉	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 E-2-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」 (p.317~319)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-2-4 「生活にかかわるサービス」 (p.251~252)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第3章 F 「公費負担医療」 (p.81~82)、第7章 B-3-7 「障害者自立支援法の成立—障害者総合支援法による支援」 (p.184~187)</p> <p>精神保健福祉 : 第3章 A-2-1 「障害者総合支援法の概要」 (p.47~52)、第7章 A-2-3 「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」 (p.210~217)</p>
		h 共同生活介護〈ケアホーム〉	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 E-2-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」 (p.317~319)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第3章 F 「公費負担医療」 (p.81~82)、第7章 B-3-7 「障害者自立支援法の成立—障害者総合支援法による支援」 (p.184~187)</p> <p>精神保健福祉 : 第3章 A-2-1 「障害者総合支援法の概要」 (p.47~52)</p>
		i 生活訓練	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 E-2-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」 (p.317~319)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 E-3-1 「社会生活技能訓練(SST)」 (p.156~159)、第10章 C-2 「若い患者の退院を支援する」 (p.263~268)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第3章 F 「公費負担医療」 (p.81~82)、第7章 B-3-7 「障害者自立支援法の成立—障害者総合支援法による支援」 (p.184~187)</p> <p>精神保健福祉 : 第3章 A-2-1 「障害者総合支援法の概要」 (p.47~52)、第5章 B-1-2 「障害者総合支援法における社会資源」 (p.135~138)</p>
		j 就労移行支援	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 E-2-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」 (p.317~319)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-2-4 「仕事に向けてのサービス」 (p.254~256)、C-5 「就労を支援する」 (p.279~285)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		k 就労継続支援 A型・B型	<p>社会保障・社会福祉：第7章 B-5-2「就労支援」(p.190～193)</p> <p>精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、B-4「精神障害者の就労支援」(p.145～149)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)、B-2「就労支援の展開」(p.221～225)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-2「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.317～319)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-4「仕事に向けてのサービス」(p.254～256)、C-5「就労を支援する」(p.279～285)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 B-5-2「就労支援」(p.190～193)</p> <p>精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.210～217)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)、B-2「就労支援の展開」(p.221～225)</p>
		l 共同生活援助〈グループホーム〉	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-2「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.317～319)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-4「生活にかかわるサービス」(p.251～252)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.81～82)、第7章 B-3-7「障害者自立支援法の成立—障害者総合支援法による支援」(p.184～187)</p> <p>精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)</p>
		m 地域生活支援事業	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-2「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.317～319)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.81～82)、第7章 B-3-7「障害者自立支援法の成立—障害者総合支援法による支援」(p.184～187)</p> <p>精神保健福祉：第3章 A-2「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.47～55)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)</p>
		n 精神障害者保健福祉手帳	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-3「『精神保健福祉法』における精神障害者保健福祉手帳と社会復帰支援」(p.320)</p> <p>公衆衛生：第7章 D-2-2「地域での生活を支える制度」(p.213～215)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 B-1-4「精神障害者の特徴」(p.173～174)</p> <p>精神保健福祉：第3章 A-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.40～47)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)</p>

目標Ⅳ. 精神疾患をもつ人の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 安全な治療環境の提供	A 安全管理〈セーフティマネジメント〉	a 病棟環境の整備と行動制限 b 自殺・自殺企図・自傷行為 c 攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム d 災害時の精神科病棟の安全の確保	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 C 「安全をまもる」 (p.110~124) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 D-1 「自殺」 (p.124~132)、第 9 章 G 「心的外傷をもつ患者への身体からはじまるケア」 (p.223~229) 精神保健福祉 : 第 4 章 B-2-3 「自殺対策」 (p.93~96) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 D-2 「暴力」 (p.132~142) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 C-1-2 「危険からまもる」 (p.111~113) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 2 章 E-5 「精神障害者に対する災害看護」 (p.140~143)
7 精神保健医療福祉の歴史と法制度	A 患者の権利擁護〈アドボカシー〉	a 当事者の自己決定の尊重 b 入院患者の基本的な処遇 c 精神医療審査会 d 隔離、身体拘束	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 A-10 「病院精神医学から地域・社会精神医学へ—社会療法の流れ」 (p.278~279)、B-5 「精神保健福祉の現在と今後」 (p.287~288)、E-2-1 「権利擁護に関する法律と制度」 (p.305~310) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 A-2 「援助者が心得ておくべきこと」 (p.237~245) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-2-2 「精神保健福祉法における精神科病院・入院形態」 (p.311~312) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 A 「入院治療の意味を理解する」 (p.62~87) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-1-3 「個人の権利を一時的に制限する法律」 (p.302~303)、E-3-1 「人権擁護の課題」 (p.324) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 コラム 「精神医療審査会」 (p.71) 精神保健福祉 : 第 2 章 A-1-4 「精神保健法の制定」 (p.19~20)、第 3 章 A-1-1 「精神保健福祉法の主要項目」 (p.40~42) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 C-2-3 「行動制限を行うとき」 (p.117~124) 精神保健福祉 : 第 8 章 B-3-4 「虐待防止の体制整備と取り組み」 (p.261~264)
	B 精神保健医療福祉の歴史と看護	a 諸外国における精神医療の歴史 b 日本における精神医療の歴史 c 精神保健医療福祉における看護師の役割	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 A 「精神障害と治療の歴史」 (p.268~279) 精神保健福祉 : 第 2 章 B 「諸外国における精神保健福祉改革」 (p.34~38) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 B 「日本における精神医学・精神医療の流れ」 (p.279~288) 精神保健福祉 : 第 2 章 A 「わが国の精神保健福祉の変遷」 (p.12~33) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 序章 「この本で伝えたいこと」 (p.2~17)、第 6 章 E-1-4 「精神科看護師にとっての法律や制度」 (p.303~305) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 C 「地域での看護の実際」 (p.257~292)、第 11 章 D 「コミュニティにおける精神保健・精神看護」 (p.323~330)
	C 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	a 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の基本的な考え方	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 B-4 「1980年代以降の精神障害者の人権擁護に関する動き」 (p.286~287)、E-1-1 「なぜ法律なのか」 (p.299~300)、E-1-3 「精神障害者にとっての法律」 (p.302~303) 看護関係法令 : 第 4 章 B-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.133~140)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による入院の形態	精神保健福祉：第3章 A-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.40～47) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-2「医療を受けるための法律と制度」(p.310～314) 看護関係法令：第4章 B-1-4「医療および保護」(p.135～137)
		c 精神保健指定医・特定医師	精神保健福祉：第3章 A-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.40～47) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-2「医療を受けるための法律と制度」(p.310～314) 看護関係法令：第4章 B-1-3「精神保健指定医」(p.134～135)
		d 保護者	精神保健福祉：第3章 A-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.40～47) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-1「権利擁護に関する法律と制度」(p.305～310) 精神保健福祉：第3章 A-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.40～47)
	D 精神保健医療福祉に関連する法制度	a 自殺対策基本法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：序章 1「『心のケア』と現代社会」(p.2～4)、第6章 E-3「法律・制度における課題」(p.324～325) 公衆衛生：第7章 D-4「自殺と自殺予防対策」(p.220～223) 看護関係法令：第4章 B-7「自殺対策基本法」(p.147～148)
		b 犯罪被害者等基本法	精神保健福祉：第4章 B-2-3「自殺対策」(p.93～96) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-3「法律・制度における課題」(p.324～325)
		c 精神の健康を守る行政システム	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：序章 1「『心のケア』と現代社会」(p.2～4) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章 D「コミュニティにおける精神保健・精神看護」(p.323～330) 精神保健福祉：第4章 A-2「精神保健福祉に関する支援システム」(p.73～81)
8 精神保健医療福祉におけるチーム	A 精神科チーム医療と看護	a 保健師	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章 D「コミュニティにおける精神保健・精神看護」(p.323～330) 公衆衛生：第7章 D-1「精神保健の活動理念」(p.209～212)
		b 精神保健福祉士	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第9章コラム「第10章で使われる各種名称について」(p.232) 社会保障・社会福祉：第1章 B-6「社会保障・社会福祉の従事者と担い手」(p.26～27) 看護関係法令：第3章 C-2「精神保健福祉士法」(p.108～109) 精神保健福祉：第4章 A-2「精神保健福祉に関する支援システム」(p.73～81)
		c 作業療法士	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 D-4「作業療法」(p.264～265) 精神保健福祉：第4章 A-2「精神保健福祉に関する支援システム」(p.73～81)
		d 精神保健福祉相談員	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：(資料2)「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.341) 精神保健福祉：第4章 A-2「精神保健福祉に関する支援システム」(p.73～81)
		e セルフヘルプグループ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-4-4「セルフヘルプグループ(自助グループ)」(p.257) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-4「セルフヘルプグループ」(p.252～253)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		f ピアサポーター	<p>社会保障・社会福祉：第8章 E-4「セルフヘルプ・グループ」(p.242～243)</p> <p>精神保健福祉：第5章 B-5「ピアサポート」(p.149～153)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第9章コラム「第10章で使われる各種名称について」(p.232)</p> <p>公衆衛生：第7章 D-3-2「入院を減らす取り組み」(p.219～220)</p> <p>精神保健福祉：第5章 B-5「ピアサポート」(p.149～153)</p>
		g 薬剤師	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第7章 F-1「病棟のダイナミクス」(p.53)</p>
		h 栄養士	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第7章 F-1「病棟のダイナミクス」(p.53)</p>
		i 心理専門職	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-1-2「支持に力点をおいた療法(支持療法)」(p.248～249)、D-4「作業療法」(p.264～265)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第7章 F-1「病棟のダイナミクス」(p.53)</p> <p>精神保健福祉：第4章 A-2「精神保健福祉に関する支援システム」(p.73～81)</p>
		j チーム医療	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-2「集団精神療法」(p.255～259)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第7章 F-1「病棟のダイナミクス」(p.53)</p> <p>精神保健福祉：第4章 B「早期の対応と地域生活をつなぐために一二次予防」(p.81～101)、第5章 B-2「アウトリーチ」(p.138～141)、B-6「地域における精神障害者への危機介入」(p.153～156)、第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)</p>